

配

筋

検

査

コンクリート構造物の品質管理において、内部の配筋状態及びかぶり深さが適正に確保されているか測定できます。
また、あと施工アンカー工事の際は鉄筋切断を防止するために事前調査を目的とした測定も可能です。
鉄筋の金属物以外にも、空洞や塩ビ管などの非金属の探査も可能です。

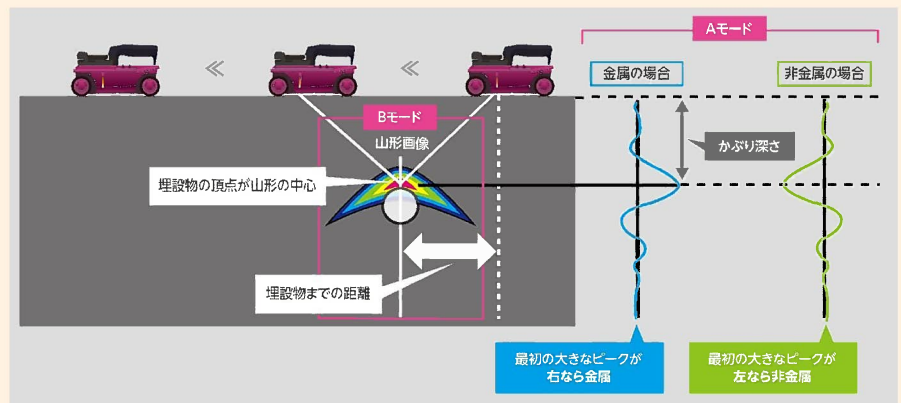
測定原理

電磁波（レーダ）をコンクリートの表面から内部に向けて放射し、対象物からの反射信号を受信することにより、鉄筋や空洞などの位置や深さを記録します。

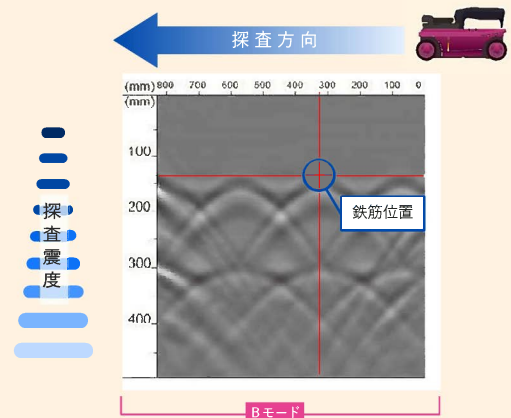


測定機器

ハンディサーチ「NJJ-200K」



測定状況 / データ表示例



技術者

(社)日本非破壊検査工業会が主催する「コンクリート構造物の配筋探査技術者資格試験」に合格した有資格者が測定を行います。

詳しくは、下記までお問合せ下さい。